令和○○年度鳥取県障がい児者自発的活動支援事業補助金応募用紙

区分（２）地域づくり交流促進事業

（１）応募団体について

|  |  |
| --- | --- |
| 応募団体名 | △△の会 |
| 所在地 | 〒６８０－８５７０鳥取県鳥取市東町１丁目２２０ |
| 代表者名 | 鳥取　太郎 |
| （共催の場合）共催団体名 | ▲▲クラブ　　　　　　　　　　　　（代表者名：岩美　友子　　　　） |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　（代表者名：　　　　　　　　　） |
| 団体人数※全体 | ●●人 | ※性質ごとの　人数内訳 | 障がい児者　：　　　　　　　　●●人 |
| 保護者　　　：　　　　　　　　●●人 |
| 支援者　　　：　　　　　　　　●●人 |
| ※団体ごとの　人数内訳 | （応募団体）△△の会　　　　　　　　　：　　　　●●人 |
| （共催団体）▲▲クラブ　　　　　　　　：　　　　●●人 |
| （共催団体）　　　　　　　　　　　　　：　　　　　　人 |
| 支援者の概要・役割※全体 | 例）通常活動での障がい児者の活動の補助、会報の発行、交流会や総会の運営、本人活動の運営補助 |
| 主な障がいの種類※全体 | 例）身体障がい | 団体構成員の居住地（市町村）の範囲　※全体 | 例）鳥取市、米子市、岩美町 |
| 主な活動内容 | （応募団体）例）月１回の情報交換会の開催、年６回の交流会の開催、年１回の総会の開催 |
| （共催団体）例）年２回の研修会の開催、年１回の総会の開催、年１回の会報の発行 |

（２）担当窓口　※応募団体のもののみで可

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 電話番号 | (○○○○) ○○－○○○○ | ○ | ※連絡がつきやすい連絡先に「○」をつけてください。 |
| ファクシミリ番号 | (○○○) ○○○○－○○○○ |  |
| メールアドレス | ○○○○＠○○○○ | ○ |
| ※平日　連絡が取りにくい時間帯 | 月曜日　午前９時～１０時、金曜日１５時～１６時 |
| 担当者名等 | （所属）△△の会事務局（NPO法人■■）　（氏名）伯耆　花子 |

（３）事業について

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 例）△△の会　お菓子づくり教室 |
| 形式（ア～エ）※複数選択可 | ア．レクリエーション事業　　　イ．教室開催事業ウ．ピアサポート事業　　　　　エ．ボランティア事業 |
| 事業概要 | 目的 | 例）自分の手で料理をつくる経験をさせることで本人の自信や積極性を育む。また障がい者と健常者が協力して料理をつくることで、互いの理解促進と交流を図る。 |
| 日時 | 令和○○年○○月○○日～令和○○年○○月○○日 |
| 場所 | ▲▲センター（▲▲市） |
| 概要 | 例）障がい者と健常者の混合班でオリエンテーションのゲームおよび調理を行う。講師には▲▲協会の因幡次郎氏ら計●名を招く。 |
| 参加者数（実数）（見込） | ●●人 | ※内訳 | 実施団体構成員（共催含） | 非構成員 |
| 障がい児者 | ●●人 | ●●人 |
| 保護者 | ●●人 | ●●人 |
| 支援者 | ●●人 | ●●人 |
| 健常者（注） |  | ●●人 |
| （注）障がい児者との交流を目的として参加する健常者 |
| 支援者の役割等 | 例）前日準備、当日の活動の障がい者の補助 |
| 非構成員の概要等（障がい児者、保護者、支援者について） | 例）会員外の障がい児者とその家族 |
| ※参加する障がい児者の数が全体の３割未満または７割を超える場合、その理由 |  |
| ※参加する健常者の数が全体の３割未満または７割を超える場合、その理由 | 例）公募を行ったところ想定以上の応募があったが、企画の工夫により交流は可能と判断したため、参加者を調整せずに事業を実施した。 |
| 事業に参加する障がい児者の居住地（市町村）の範囲　※全体 | 例）鳥取市、米子市、北栄町 |
| 健常者の参加の形式※あてはまるものに「○」をつけてください。（複数選択可） | ア．公募に対して応募した者イ．学生サークル、学校等のクラス、自治体の子ども会など、短期間での入れ替わりが想定される団体等に所属する者（健常者が所属する団体等の名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）ウ．自治体の町内会、婦人会、保護者会など、地域振興や住民の親睦などを目的として活動している団体等に所属する者（健常者が所属する団体等の名称：△△地区子ども会　　　　　　　　　　　）エ．その他 |
| 【エの場合】参加の形式（具体的に） |  |
| 【ア～エすべてについて】この参加形式とする理由 | 例）ア…所属等を限定せずに交流したいと考えたため例）イ・ウ…△△地区では通常活動も行っており、この機会を利用して住民との親睦を深めたいと考えたため |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業目的を達成するために講じる工夫等 | 工夫等の内容 | 予想される効果等 |
| 例）公募を行うにあたり、ＨＰへの情報掲載や自治会や市役所に情報提供を行う。 | 例）所属等を限定せずさまざまな立場の健常者と交流できる。 |
| 例）△△地区の子ども会に参加を呼びかける。 | 例）普段見かけることはあってもなかなか交流できない健常者と交流する機会をつくる。 |
| 例）健常者と障がい者の混合班でオリエンテーションや調理をする。 | 例）共同作業することで交流を促す。オリエンテーションは自己紹介などをとおして会話できるように工夫する。 |
|  |  |
|  |  |

※記載した工夫については実績報告で効果の振り返りをしていただきますので、効果等を検討の上で取り組んでください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業の主な日程（案） | 日時 | 内容 | 主な経費 |
| ○／○ | 前日準備（資料印刷、会場準備） | 役務費（印刷代）使用料（会場・コピー機代） |
| ○／○ 10時 | 開会 | 役務費（ボランティア保険料） |
| 10時5分～11時45分 | オリエンテーション（班決め・自己紹介をかねてゲーム） | 需用費（文房具、スケッチブック等） |
| 11時45分～13時 | 昼食準備・昼食・昼休憩 | 食糧費（仕出し弁当代） |
| 13時～13時30分 | 手順説明（因幡次郎氏） |  |
| 13時30分～15時30分 | 調理（混合班）（因幡次郎氏ら●名による助言） | 報償費・旅費（講師●名分）需用費（材料費） |
| 15時30分～16時30分 | 試食会（混合班） |  |
| 17時 | 記念撮影・閉会 | 需用費（写真代（参加者に配布）） |
|  |  |  |

※記載例を参考に、どの時点でどのような経費がかかるのかおおまかにわかるように記載してください。

※既存資料（日程表、しおりなど）を編集したものを添付して代えても結構です。

（４）収支予算書

収入の部

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科目 | 予算額 | 摘要 |
| 県補助金 | ■■■■■ |  |
| ◎◎◎◎友の会補助金 | ◎◎◎◎ |  |
| 自主財源（参加費、会費） | ●●●● | １名●●●円×参加者●●名＝●●●●円　のうち　●●●●円 |
|  |  |  |
| 合計 | ○○○○○ |  |

※事業に係る収入をすべて記載してください。

支出の部　※最もはやい支出の時期　…　○月上旬

（単位：円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科目 | 予算額 | 摘要 |
| 報償費 | ○○○○○ | １名●●●●円×講師●名 |
| 旅費 | ○○○○○ | １名●●●●円×講師●名 |
| 需用費 | ○○○○ | 文房具、スケッチブック　●●円調理材料費　●●円写真代（参加者に配布）　●●円 |
| 食糧費 | ○○○○○ | ●●円×参加者●●名 |
| 役務費 | ○○○○ | 資料印刷代　●●円×●●部ボランティア保険料　●●円×●名 |
| 使用料 | ○○○○ | ▲▲センター使用料●●円×●時間コピー機使用料　●円×●●枚 |
|  |  |  |
| 合計 | ○○○○○ |  |

※申請時に記載しなかった費目については算定基準額の対象外となることがあります。

※見込数を記載する場合、できるかぎり実態に近い内容を記載してください。

※今回の応募内容と採択後の交付申請内容に大きな変更がないようにしてください。